

新型コロナウイルス感染症に関する注意事項

日本陸上競技連盟作成のガイドライン及び競技場が示す、施設利用の条件に準じた万全の対策を講じる。

(1) 感染防止の基本事項

- 3つの密を避ける対策をとる。
 - ・「密閉」空間にしないよう、こまめに喚起する。
 - ・「密集」しないよう人と人との距離をとる。
 - ・「密接」した会話や発声は避ける（ソーシャルディスタンス）。
- こまめに石鹸で手洗い、又はアルコール等で手指消毒をする。
- 原則、マスクを着用する。
- 咳をする場合はマスク着用、ハンカチや袖口で口を覆う（咳エチケット）。
- 食事の際は黙食を徹底する。

(2) 大会全般における注意事項

- ① 大会関係者は、受付でIDカードを受け取る。会場内に入る場合は「健康確認シート（個人・団体用）」とIDカードを**毎日**TICに提出し、検印を受けたIDカードを受け取る。そのIDカードを身につけていなければ主競技場・補助競技場・球技場に入場することはできません。
 - 一般観戦者は「健康確認シート」を**毎日**TICに提出し、検印を受けた「健康確認シート」を受け取り、スタンドで観戦する。
- ② 「健康確認シート」に異常がある場合と、大会当日、体温37.5℃以上の発熱など、体調不良がある場合は競技に参加出来ないし、観戦もできません。
- ③ タオルやボトルの共用はしない（各自で持参すること）。
- ④ 競技前後には石鹸でしっかり手洗い、またはアルコール等で手指消毒を必ず行う。
- ⑤ 大会の競技中以外は、原則マスクを着用する。
- ⑥ 観戦中は大きな声での会話、発声を伴う応援等はしない。
- ⑦ 飲食（特に昼食）する際は、黙食を徹底し、ソーシャルディスタンスの確保、同方向を向いて飲食する（向かい合う、円になる等密集した状態での飲食はしない）。
- ⑧ 競技前後のミーティングは三つの密を避け、必要最低限・短時間で行う。
- ⑨ 大会期間中、発熱等の症状を訴える選手が出た場合、関係者の迎えを依頼するなど各団体・個人で対応する。また、各県専務理事を通じて大会本部へ至急知らせる。
- ⑩ 大会後、感染が確認された場合、所属する団体や各県の行政機関の指示に従って対応し、速やかに大会本部へ連絡する。